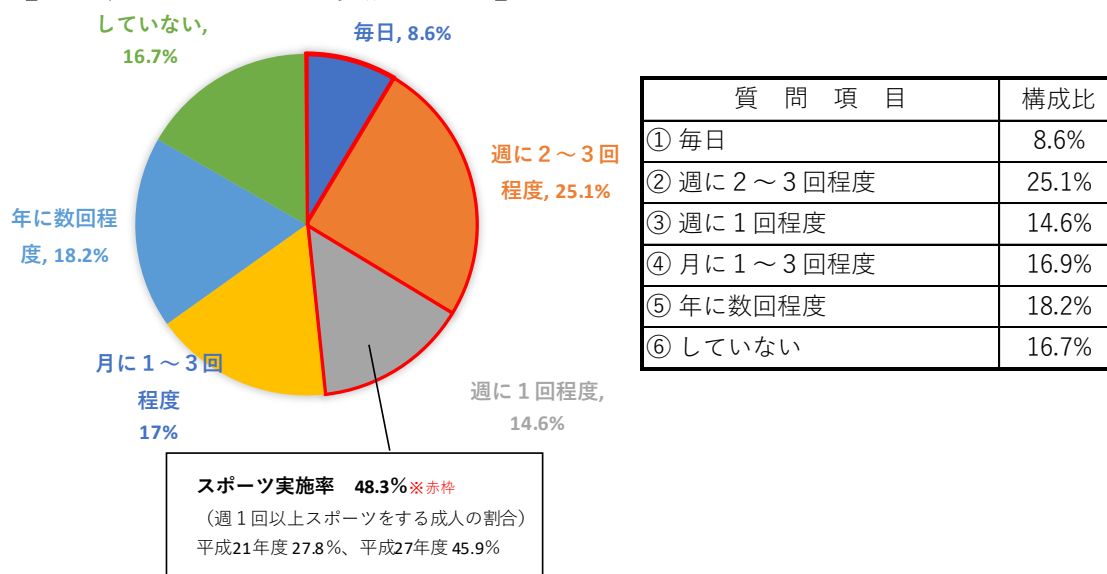


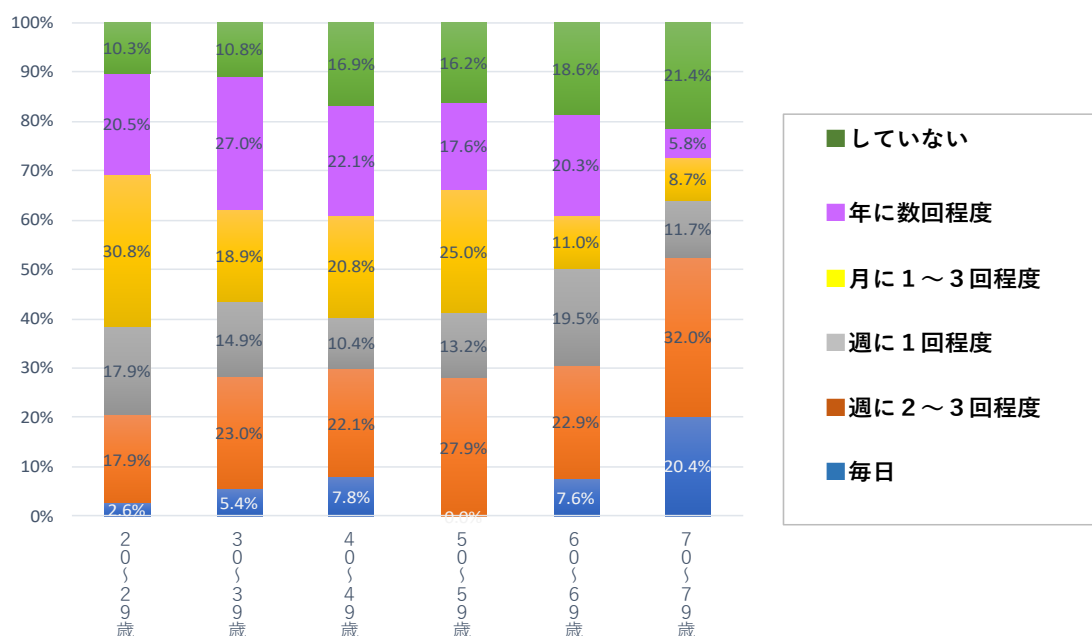
スポーツプランに関する意識調査（報告）

本市における成人の週1回以上のスポーツ実施率は、令和2年度に実施した「スポーツに関する意識調査」では、48.3%と、前回実施した平成27年の45.9%を2.4ポイント上回る結果となりました。また、令和元年度（最新）に県が実施した調査結果の36.2%を大きく上回りましたが、国の令和2年調査結果の、59.9%を11.6ポイント下回りました。

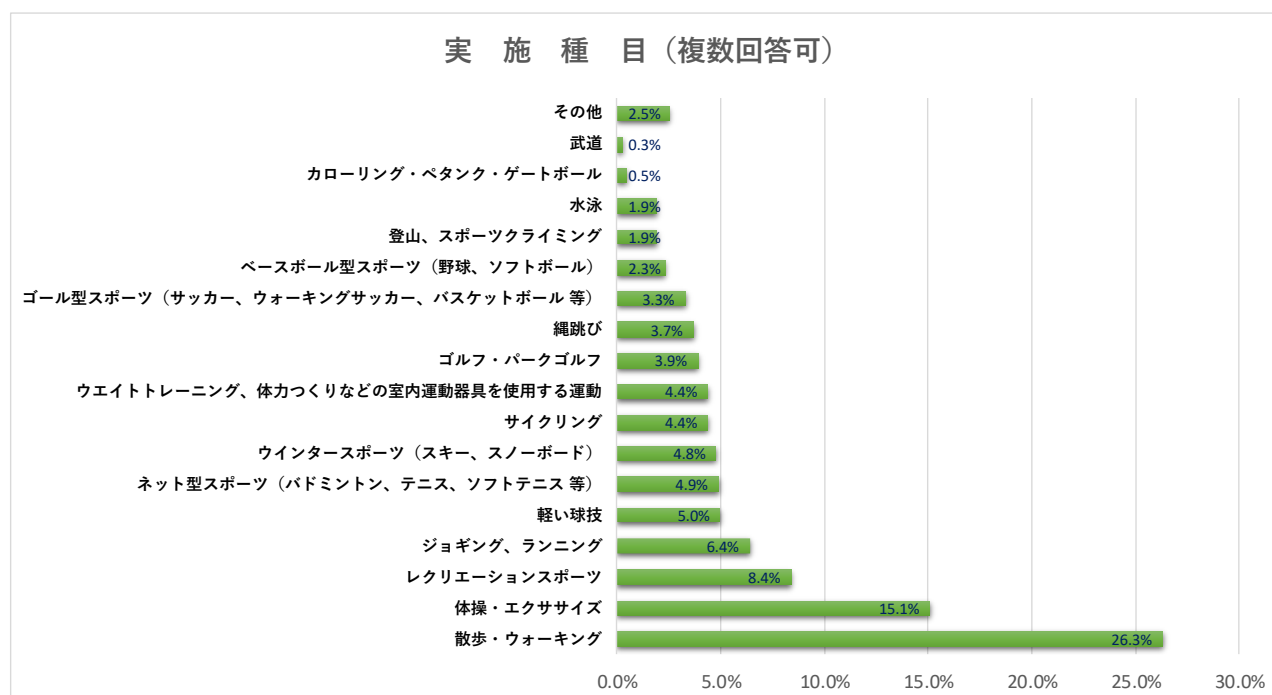
【 運動・スポーツの実施状況 】



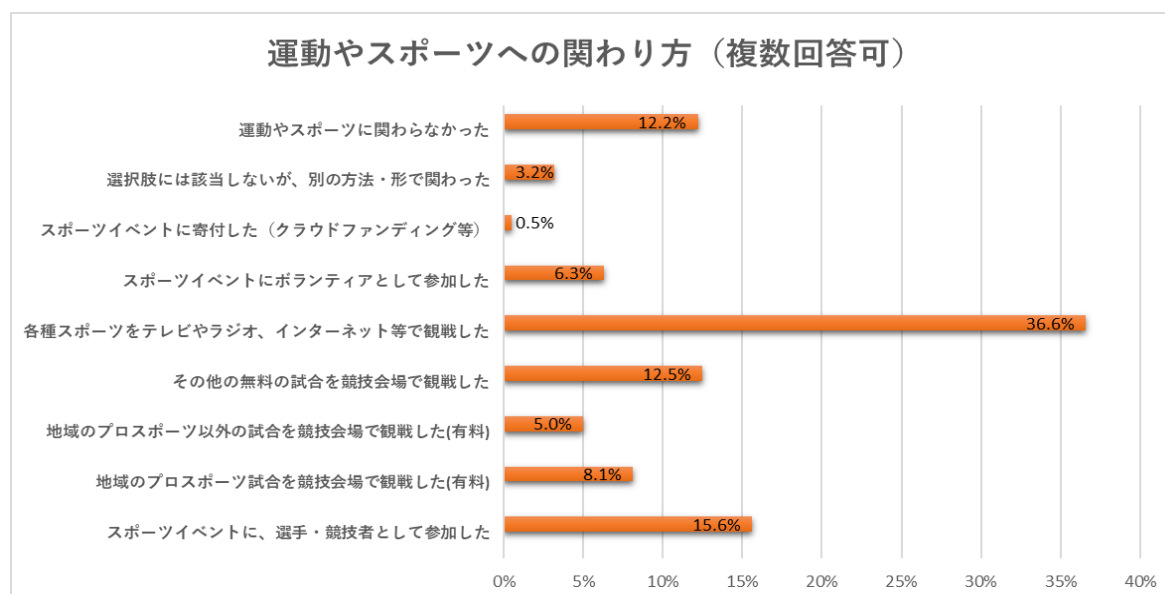
年代別では、60歳代が50%、70歳代が60%を超え、前回調査と同じく高い傾向にあります。20歳代から50歳代については、40%前後の低い傾向となりました。しかし、スポーツを「していない」値が16.7%となり、前回の25.6%からマイナス8.9ポイントと、スポーツをしていない比率は減少しました。



実施種目では、「散歩・ウォーキング」や「ジョギング・ランニング」、「ウエイトトレーニング、体力づくり運動」「体操・エクササイズ」の割合が50%を超えており、いつでも・どこでも・だれでもできる運動が行われています。また、実施種目数も増えており、個々が親しみやすいスポーツを選択し、楽しんでいることが見られます。

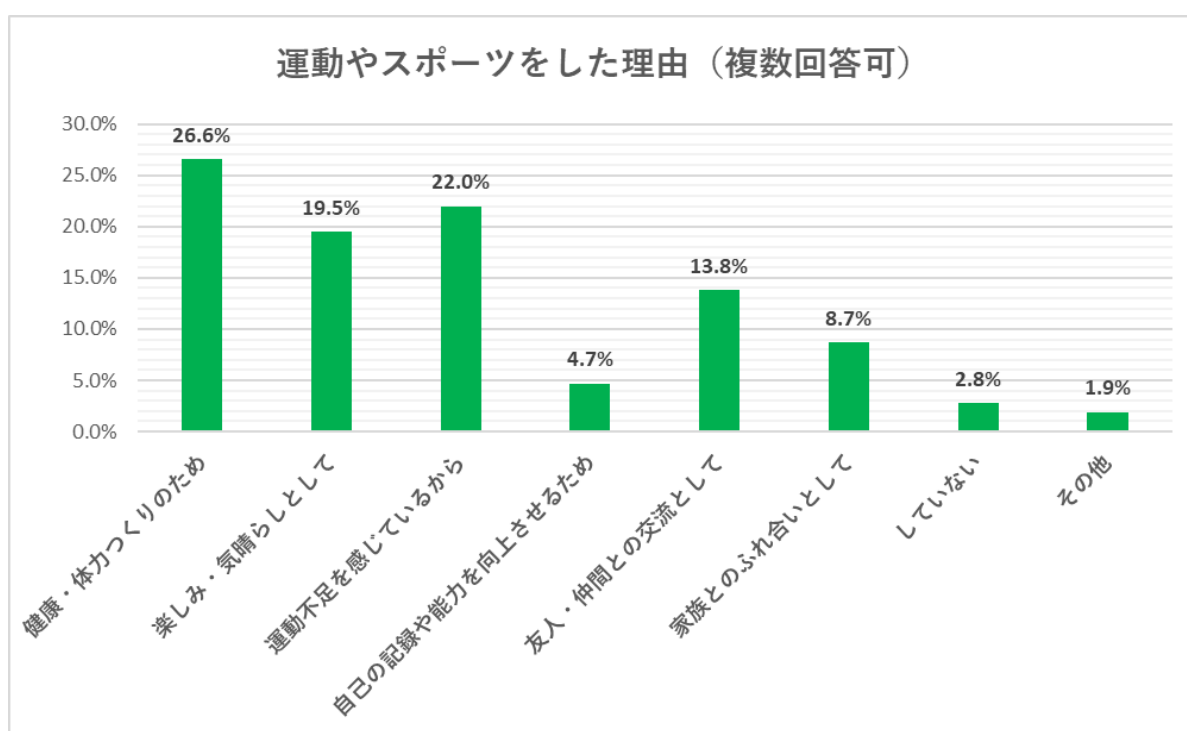
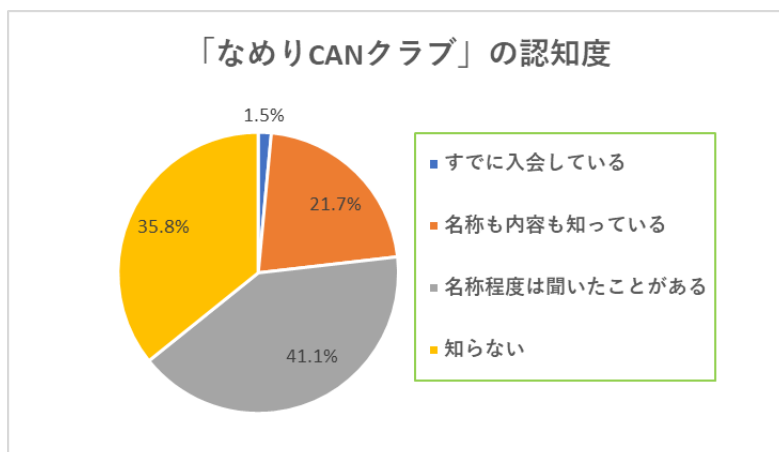


運動やスポーツへの関わり方については、メディアを通じて観戦している割合が高く、その他にも、試合会場での観戦やスポーツイベントへの参加により、スポーツに興味を持ち関わるといった結果となりました。また、運動やスポーツを「していない」人で観戦やボランティア等を含め、「運動やスポーツに関わらなかった」との回答は全体の7.5%ありました。



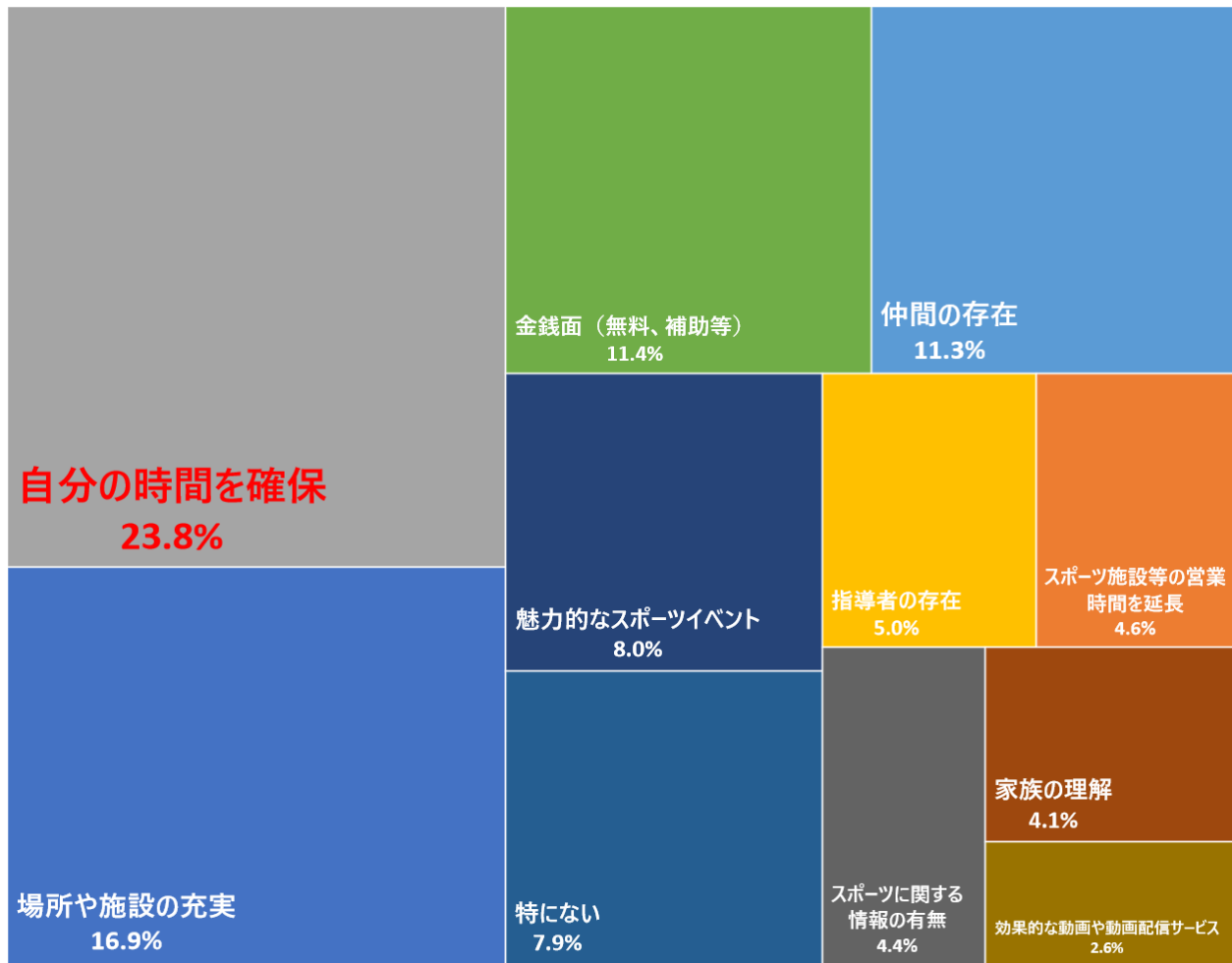
令和元年度に設立１５年を経過した総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」は、現在、ジュニア向けプログラムを１１教室、健康づくりメニューを１０教室、年間を通じてイベント等を展開しています。会員数が伸び悩んでおり、その背景には、民間の

スポーツクラブの充実や、ランニングやエクササイズ等の個人や自宅でも行うことのできるスポーツの普及等が挙げられます。今後、魅力あるプログラムの展開や、優秀な指導者の確保等の課題に取り組み、より一層の周知に努めていく必要があります。



スポーツをした理由では、体力向上・健康の維持増進が全体の約５０％を占めており、自己管理などの意識向上が見られます。また家族や友人との交流、趣味やストレス解消としてスポーツを行う人の割合も高い値となりました。

運動やスポーツを今まで以上に実施するための条件



「どのような条件が整えば、今まで以上に運動やスポーツをしたいですか」との設問には「自分の時間の確保」が約4分の1を占めました。特に20歳代～50歳代に多く、働き世代が終業後、時間が確保できれば運動やスポーツを楽しみたいとの意見が多く寄せられました。また施設等の環境面や、利用料金や会費等の金銭面の改善を求める声もありました。

【まとめ】

今回の調査では、スポーツ実施率の向上やスポーツ無関心層の減少等が見られました。特に、20歳代から50歳代までの働き世代のスポーツ実施率が低いことや、高齢者のスポーツを「している」「していない」の二極化等の課題があります。

引き続き、市体育協会や総合型地域スポーツクラブ、各種団体と連携し、誰でも気軽に参加することのできるスポーツイベントの開催など、スポーツへの参加の機会づくり、スポーツ・運動を日常的に親しむきっかけづくり等、市民のスポーツ活動の促進や運動習慣化に向けて取り組んでまいります。